

平成30年4月 新しい県立高校が開校します

平成26年12月に県教育委員会が策定した、「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画(第1次)」にもとづき、平成30年4月に次の3つの新高校が開校します。

いずれの新高校も、2つの校舎(校地)を利用する「校舎制」の学校となります。

新高校名 県立鹿島高等学校

(現在の鹿島高校と鹿島実業高校が再編統合)



校舎名	赤門学舎 (現在の鹿島高校)	大手門学舎 (現在の鹿島実業高校)
学科・学級編制	普通科 5学級(200人)	商業科 1学級(40人) 食品調理科 1学級(40人)

新高校名 県立白石高等学校

(現在の白石高校と杵島商業高校が再編統合)



校舎名	普通科キャンパス (現在の白石高校)	商業科キャンパス (現在の杵島商業高校)
学科・学級編制	普通科 3学級(120人)	商業科 1学級(40人) 情報ビジネス科 1学級(40人)

新高校名 県立嬉野高等学校

(現在の塩田工業高校と嬉野高校が再編統合)



校舎名	塩田校舎 《工業科キャンパス》 (現在の塩田工業高校)	嬉野校舎 《総合学科キャンパス》 (現在の嬉野高校)
学科・学級編制	機械科 1学級(40人) 電気科 1学級(40人) 建築科 1学級(40人)	総合学科 2学級(80人)

県立厳木高校については、平成30年4月に、不登校経験者や発達障害がある生徒等を対象とした全県募集枠を設ける、「多様な学びのできる学校」として改編されます。

単位制による多様な選択科目の設定や、恵まれた自然環境を生かした体験的な学習の実施、リメディアル(学び直し)教育や充実した生徒支援等、特色ある教育活動を行います。



県立厳木高等学校 (改編)

西部学区枠 40人

西部学区の生徒を対象

全県募集枠 40人

全日制高校で学ぶ意欲と能力のある県内全域の、不登校経験者、発達障害のある生徒等を対象

◆特色ある教育活動

S 単位制による多様な選択科目

S 体験的な学習

S 充実した生徒支援体制



2019 さが総文 開催決定!!

全国高総文祭とは

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から各都道府県が持ち回りで開催する高校生による芸術文化活動の祭典です。佐賀大会では、19の規定部門と4つの協賛部門が開催されます。今までの大会では、参加校は約3千校、都道府県代表の約2万人の高校生が全国から集まり、県内を含め約10万人の観覧者が訪れる大きなイベントです。

開催期間

※詳しい開催日程については、県教育委員会のホームページでご確認ください。

2019年7月27日(土) > 8月1日(木)



大会シンボルマーク

(制作：県立有田工業高等学校デザイン科)

開催部門と開催市町

※平成29年6月6日現在

初日に行われる総合開会式、パレードの開会行事から始まり、合計23部門が佐賀県内の各地で行われます。

開会行事	総合開会式 佐賀市	パレード 佐賀市	規定部門	演劇 鳥栖市	合唱 鳥栖市	吹奏楽 佐賀市					
器楽・管弦楽 佐賀市	日本音楽 武雄市	吟詠 剣詩舞 唐津市	郷土芸能 武雄市	マーチングバンド バンドワラタ 佐賀市	美術・工芸 佐賀市	書道 唐津市	写真 嬉野市	放送 基山町	囲碁 鹿島市	将棋 江北町	
弁論 多久市	小倉百人一首 かるた 佐賀市	新聞 佐賀市	文芸 伊万里市	自然科学 佐賀市	19 部門	協賛部門	特別支援学校 佐賀市	ボランティア 白石町	茶道 小城市	郷土研究 有田町	4 部門

生徒実行委員会の活動もスタート!

県内の高校生による生徒実行委員会が設立され、「2019さが総文」の企画を行っています。

7月31日～8月4日に開催された宮城大会(みやぎ総文2017)では視察を行い、宮城県、長野県(平成30年度開催)の生徒と交流を行いました。いろいろなアイデアを出し合って、「2019さが総文」が参加する高校生にとって最高の思い出になる大会となるよう、精一杯頑張ります!



■宮城県(緑のTシャツ)、長野県(オレンジのTシャツ)の高校生と一緒に交流をした佐賀県の生徒実行委員会(あさぎ色のTシャツ)

各種広報デザインが決定しました

大会を全国にPRするためにたくさんの方の公募を行いました。これから本番までさまざまな場面で活用します。

※在籍校は応募当時のものです

大会テーマ・毛筆表現

(横書き：県立佐賀西高等学校・富永 真理さん)
(縦書き：県立佐賀北高等学校・高木 沙絵さん)



大会マスコットキャラクター

(デザイン：県立致遠館中学校・松浦 由妃乃さん)
(愛称：佐賀女子高等学校・杉山 黎さん)



ポスター原画

(県立厳木高等学校・増本 佑理さん)



県立特別支援学校でスクールバスの運行を始めました

県教育委員会では、自力での通学が困難な子どもたちの通学を支援するとともに、保護者の方の送迎の負担を軽減するため、今年6月から、県立特別支援学校6校（金立特別支援学校、大和特別支援学校、中原特別支援学校、伊万里特別支援学校、唐津特別支援学校、うれしの特別支援学校）で各1コースのスクールバスの運行を始めました。このうち、肢体不自由特別支援学校である金立特別支援学校では、リフト付きバスを運行しています。

運行開始当初は、子どもたちに緊張の様子が見られましたが、少しずつバスでの通学に慣れてきました。また、子どもたちはバスの添乗員さんとも徐々に打ち解け、挨拶や言葉を交わす姿も増えてきています。

毎日のバス通学の中で、乗降場所でバスを待つことや、落ち着いて着席しておくこと、先輩や後輩と一緒に過ごすことなどの一つひとつが、利用する子どもにとって貴重な経験になっています。

スクールバスの運行は始まったばかりですが、今後、子どもたちや保護者の方などの声も聞きながら、よりよい運行となるよう取り組んでいきます。



スクールバスによる通学の様子です！

詳しくは 特別支援教育室 ☎0952-25-7475 FAX0952-25-7409 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

理数教育の充実に取り組んでいます

県教育委員会は、理科や科学技術に対する興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力等の育成を図るため、県内の中学生を対象に「科学の甲子園ジュニア佐賀県代表選考会」を開催しました。参加者は1チーム3人で、筆記競技と実技競技に挑戦し、日頃の学習活動等で習得した知識や技能をもとに、実生活や実社会と関連がある課題に取り組みました。今回の選考会で総合1位、2位の合同チームは、茨城県つくば市で開催された「科学の甲子園ジュニア全国大会」に佐賀県代表として出場しました。

「科学の甲子園ジュニア佐賀県代表選考会」の様子を紹介します！

筆記競技は、8月8日（火）に神埼会場と武雄会場の2会場で行われ、県内15校から41チーム123人が参加しました。各チームは、相談したり、役割分担したりしながら、理科に関連する課題に取り組みました。

実技競技は、9月24日（日）に致遠館中学校で行われ、筆記競技の上位20チームが「ものづくり競技」と「数学実技競技」に取り組み、その成果を競い合いました。

【代表選考会の結果】

- 総合1位 佐賀大学教育学部附属中学校
- 総合2位 学校法人松尾学園 弘学館中学校
- 総合3位 白石町立白石中学校
- 総合4位 鳥栖市立鳥栖中学校 総合5位 白石町立白石中学校

【参加者の感想】

- ・3人で問題を解くのはめったにない体験で、とても楽しかった。見たこともない問題があつて、わくわくした。
- ・日常で使うものも問題に出ており、とても頭を使いました。とても難しい問題だったけど、おもしろかった。



筆記競技の様子（神埼市中央公民館）

詳しくは 学校教育課 ☎0952-25-7395 FAX0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

食育の推進に取り組んでいます

平成28年度県内小中学校の朝食喫食率(登校時のみ)は、「小学校86.6%」、「中学校86.2%」でした。その中で、「唐津市立平原小学校」「唐津市立馬渡小学校」「小城市立三里小学校」「佐賀市立北山中学校」「伊万里市立滝野小・中学校」では4年連続で朝食喫食率100%を達成しており、今回は、100%達成校における取組の一部を紹介します。

唐津市立馬渡小学校 **【学校行事や児童の主体的な活動を通じた食育】**

3・4年生によるアワビの養殖や小中合同のフグ稚魚放流等の体験活動をはじめ、月1回の小中学校合同で行う交流給食や児童生徒会による「食に関する集会」等、食育に関わる活動を行っています。また、子どもたちが楽しみにしている郷土料理メニューや誕生日リクエスト給食等を実施することで、児童の食への関心を高める結果につながっています。



アワビの養殖



地域食材を使った料理作り

【地域に支えられ、共に学び合う食育】

給食の時間は、全校生徒と職員全員がランチルームに集まって給食を食べています。この時間を通して、上級生・下級生の垣根なく、生徒同士が食に関して共に学び合える日常があります。また「マナー給食」、「サマーキャンプ」で地域の食材を生かした料理づくり等の食に関わる体験活動によって、保護者や地域と深く関わり合い、お互いに成長を感じ、楽しみながら食育実践につなげています。

佐賀市立北山中学校

詳しくは 保健体育課 ☎0952-25-7234 FAX0952-25-7477 ✉hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp

地域産業を担う人材の育成に取り組んでいます

佐賀県高校生産業教育フェア



手話パフォーマンス【ステージ発表】
(福祉:嬉野高校)



プログラミング体験【体感ゲーム】
(商業:伊万里商業高校)



小学校での万年カレンダー製作
(出前授業:塩田工業高校)



CAD・3Dプリンタによるペーパークリップ製作(公開授業:有田工業高校)

「未来へ届けよう佐賀の技と心」のキャッチフレーズのもと、今年も「佐賀県高校生産業教育フェア」を「SAGAものスゴフェスタ2017」と合わせて、8月26日、27日の2日間、県庁(県民ホール他)で開催しました。農業・工業・商業・家庭・福祉・看護を学ぶ高校生が日頃の学習成果と産業教育の魅力を発信しました。多くの方々にご来場・体験いただき、ありがとうございました。

工業系高校生(佐賀工、鳥栖工、唐津工、有田工、塩田工、多久の6校)が講師として、小・中学生にもものづくりの楽しさを教える「ものづくり体験教室」を実施しています。小・中学生に教えることで、日頃学習した成果を再確認し、技術・技能の向上を図ります。体験した小・中学生からは「楽しかった」「また体験したい」「高校生が教えてくれて分かりやすかった」など多くのご意見をいただいています。

詳しくは 学校教育課 ☎0952(25)7228 FAX0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

佐賀から世界にチャレンジする生徒を応援しています！

県教育委員会では、国際的な視野とコミュニケーション能力を身に付け、グローバル化が進展する国際社会においても活躍できる人材の育成を目指しており、中学生及び高校生を対象に、留学や海外研修、県内英語合宿など様々な支援を行っています。

今回は、県の助成金を受けて海外留学した高校生と県主催のアメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアーに参加した中学生の声をご紹介します。

石橋 史帆さん 武雄高等学校 2年
留学先：アメリカ(テキサス州)長期留学
期間：平成28年8月～平成29年6月



アメリカに行って最初の頃は、自分の英語に自信がもてず、積極的に会話をすることができず、自分の中で何でも解決したつもりでいました。そんな時、周囲のアドバイスを受け、それからは、些細なことでも相手と話をし、自分をアピールすることを心掛けました。そして、その中で、分からないことは分からないと意思表示をしっかりとすることが信頼しあうために大事だと実感しました。また、留学を通して、周囲の人たちの存在の大きさ、大切さに気づきました。私の周りにはたくさんの支えがあり、一人ではありませんでした。学校で助けてくれた友達、先生方、本当の家族のように接してくれたホストファミリー、「元気にしている？」と聞いてくれた日本の友達、家族がいました。留学は英語だけでなくそれ以上のことを毎日学ぶことができ、自分にとってかけがえのないものになりました。留学をして改めて気づいた、「周りの支えへの感謝」を忘れずに日々を過ごし、自分の夢を叶えていきたいと思います。



松本 龍晟さん 武雄青陵中学校 3年
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー
期間：平成29年8月1日～8月14日(ロサンゼルス市)



僕がこの研修で失敗したなと思うことは、始めて数日、自分の英語が伝わるのかが不安で、自分から話しかける回数が少なく、ホストファミリーからの質問に答えるだけのことが多かったことです。しかし、少しずつ、自分から「この料理とてもおいしかった」、「これどうすればいいの?」と話しかけることができるようになり、1回で通じない時は、伝えるまで何度も繰り返しました。理解してもらえるとほっとするし、何より嬉しかったです。何度も何度もトライして伝えようとする気持ちをくみ取って、何とか分かるうとしてくれる向こうの方の気持ちもとても嬉しく思いました。

この研修で学んだことは、言葉が通じなくても、何とか伝えよう!その気持ちが大事だということです。

これからは、「英単語」と「英語の正しい発音」を覚えたいです。間違った発音では違う単語に変換され、誤解をうむことがあるかもしれないからです。



佐賀県グローバル人材育成事業を紹介します

佐賀県中学生・高校生海外留学等助成金制度

- ◆中・高校生の海外研修と高校生の海外留学に必要な経費の一部を助成します。
- ◆中・高校生の海外研修10万円
(研修期間が2週間以上3ヶ月未満)
研修費用の自己負担が10万円以上のもの
- ◆高校生の海外留学50万円(留学期間が3ヶ月以上)
※いずれの場合も保護者が佐賀県内に居住していること

アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー

- ◆中・高校生を対象に、アメリカで2週間の海外研修を実施し、経費のうち10万円を県が負担します。(実施時期 8月)

英会話・国際理解合宿セミナー

- ◆中・高校生を対象にネイティブスピーカーのコーチや留学生と一緒に、1泊2日の英語集中合宿を行います。(実施時期 8月)

佐賀県中高生留学ガイダンス

- ◆海外留学を経験した先輩たちの体験発表や、海外留学等を取り扱う旅行業者、留学業者、留学団体などのブースを設けて、海外留学についての情報を収集できる場を提供します。(実施時期12月)

Facebookで海外留学、研修などの情報を発信中!



佐賀県グローバル人材育成

検索

ICTの利活用教育に取り組んでいます

県教育委員会では、一人ひとりの個性や能力に応じたわかりやすい授業を実施し、情報活用能力やコミュニケーション能力の向上等につなげることを目的に、全県規模でICT利活用教育に取り組んでいます。

平成26年度からは、県立高校全校で、電子黒板と一人1台の学習用パソコンを使用した教育を進めています。

学習用パソコンを活用した授業の様子を紹介します！



電子黒板で意見を共有



実験の状況を動画撮影し記録

学習用パソコンを活用しています！



化学担当

学習用パソコンで実験の手順やポイントを示すことで、実験結果への考察がレベルアップしました。



国語担当

生徒の考えを共有する際に、電子黒板を用いて発表を行うことで、生徒の表現力が向上してきました。



英語担当

英語表現をみんなで考える場面で、英文の作成と発表に学習用パソコンを使わせると、生徒のやる気がとても高まります。

学習用パソコンに資料を配信すると、生徒たちが興味を持ち、主体的に学んでくれるため、授業に活気が出てきました。



地歴公民担当

生徒が作成したデータを電子黒板に投影し、発表や話し合いをさせています。生徒の主体的な活動を取り入れることで、深い学びにつながっています。



農業担当

グラフ活用やデータ分析のデジタル教材を作成し、授業で取り入れることで、生徒の理解を深めています。



数学担当

佐賀県で取り組むICT利活用教育の取組状況等の詳細については、佐賀県教育委員会ホームページをご覧ください。



佐賀県 ICT教育

検索

県教育委員会では、今後も引き続き、児童、生徒や保護者、県民の皆さんのご意見を広く伺いながら、よりよい教育の実現に向けて、ICT利活用教育に取り組んでいきます。

詳しくは

教育情報化支援室 ☎0952-25-7222 FAX0952-25-7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

防災教育を推進しています

唐津南高等学校の生徒が熊本地震の被災地を訪問しました

県教育委員会では、文部科学省と連携し、防災教育の推進に取り組んでおり、その一環として平成29年9月、唐津南高等学校の生徒11名が熊本地震での被災地（熊本市、西原村）を訪問し、熊本県立第二高等学校の生徒や地域の方々と交流しました。

被災地を訪問した生徒たちは、現地に足を運ばなければわからなかった被害状況や生活の現状、被災者の方の気持ち等に触れ、命の尊さを実感するとともに、家族や仲間がかけがえのない存在であることに改めて気づく機会になりました。

特に熊本県立第二高等学校では、訪問した生徒達は、被災した同世代の高校生が前向きに未来を見据えて学校生活を過ごしている姿に、勇気もらおうと同時に、少しでも被災者の方へ支援ができればという思いを強くし、今回の被災地訪問によって一人ひとりが感じたことを一人でも多くの方に伝えていきたいと考えています。

その機会の一つとして、平成30年1月25日（木）佐賀市文化会館で成果報告会があります。ぜひ御来場いただき、高校生の思いを聞いてください。



熊本県立第二高等学校生徒との交流



地震による被害状況の視察

詳しくは

保健体育課 ☎0952-25-7234 FAX0952-25-7477 ✉hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp

さがを誇りに思う教育を推進しています

県教育委員会では、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、ふるさと佐賀への愛着と理解を深め、そのよさを実感し、誇りに思う気持ちを育てるために、佐賀の自然や歴史、文化等を学び、それらに親しむ体験活動を推進しており、平成27年度から高島、小川島、加唐島、馬渡島のそれぞれの島で「子ども離島交流事業」を実施しています。

たくさんの児童生徒が「子ども離島交流事業」に参加しています！

「子ども離島交流事業」では、島外に住む小中学生が離島を訪ね、島の子どもたちとともに、スポーツ交流や自然体験等の体験活動を行います。

当事業が始まったこの3年間で、たくさんの島内外の児童生徒が参加しています。平成27年度は124人、平成28年度は122人が参加しており、今年度は127人が参加し、多くの児童生徒が離島での交流に興味を持っていることがわかります。

高島



島の紹介の様子

当事業をとおして、島内の参加者は、自分が住む島のよさを伝えることで、改めて島の素晴らしさを確認する機会と

なっています。また、島外の参加者は、佐賀県の雄大な自然を感じるとともに、自分が住む地域についてもさらに興味を持つようになりました。

このように、参加した児童生徒にとっては、相互交流の貴重な機会であるとともに、県内の他地域や自分が住む地域について学ぶ有意義な体験となっています。

みりん干し作り体験



小川島

詳しくは

学校教育課 ☎0952-25-7395 FAX0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

新しく指定された県内の文化財を紹介します

平成28年11月から平成29年10月の間にユネスコや国、佐賀県が指定等を行った文化財です。

これらの文化財は、佐賀県の歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた私たちの貴重な財産です。

<p>ユネスコ無形文化遺産</p>	 <p>やま ほこ やたいぎょうじ 山・鉾・屋台行事</p> <p>「唐津くんちの曳山行事」を含む、国の重要無形民俗文化財に指定されている山・鉾・屋台行事33件で構成され、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う、山などの巡行を中心とした祭礼行事として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。</p>	 <p>きゅうからつぎんこうほんてん 旧唐津銀行本店 【所有：唐津市】</p> <p>唐津市本町に所在し、明治45年（1912）に建設されました。設計は田中實、監修は辰野金吾です。煉瓦造の銀行建築として県内に唯一現存するもので、辰野金吾が関わる郷里に残る建物として価値を有しており、唐津の近代化を支えたシンボリックな建物です。</p>
<p>佐賀県重要無形民俗文化財</p>	 <p>あやべはちまんじんじゃ はたあ 綾部八幡神社の旗上げ 神事・旗下ろし神事 【所有：綾部八幡神社】</p> <p>三養基郡みやき町に所在する綾部八幡神社は、日本最古の气象台とされ、旗の巻き具合でその年の天候などを占う風占行事は、地域の人々によって長く受け継がれ、全国でも他に類例を見ない、とても価値の高いものです。</p>	 <p>さくらのばばいせきしゅつどいぶつ 桜馬場遺跡出土遺物 （平成19年度調査分） 【所有：唐津市教育委員会】</p> <p>弥生時代の甕棺墓から出土した青銅鏡・大刀・玉類などで、この墓が采盧国の王墓であることを裏付ける価値の高いものです。戦前この同じ甕棺から出土した遺物が、既に国の重要文化財に指定されています。</p>
<p>国登録文化財</p>	 <p>きゅうももさきけじゅうたくしゅおく 旧百崎家住宅主屋 【所有：個人】</p> <p>佐賀市水ヶ江に所在し、茅葺の主屋は明治前期の建築と考えられ、複雑な屋根形状からなる地方的特色と質の高い武家屋敷の様相を有し、佐賀城下における往時の景観を今に伝えるものとして価値を有しています。</p>	 <p>なかのけじゅうたくしゅおく すいそう 中野家住宅主屋、水槽他4件 【所有：個人】</p> <p>藤津郡太良町に所在し、地域振興や教育に尽力した中野氏の住宅として明治42年に建築されました。主屋棟、座敷棟、納戸棟を廊下で結び、接客や教育活動のために工夫された平面構成を持ち、煉瓦造の水槽や取水口などの近代的な自家用給水施設を備え、石造の門柱や石垣とともに価値を有しています。</p>
<p>国登録文化財</p>	 <p>おおたにかわすいどう 大谷川隧道 【占有（管理）者：佐賀県】</p> <p>唐津市千々賀に所在する、明治44年建設の煉瓦造の三層巻馬蹄形アーチ構造の隧道です。洪水防止のため地元住民により建設され、現在も良好な状態で維持されている現役の土木構造物で、煉瓦造のアーチが竹林の中に佇む姿は美しく、国土の歴史的景観に寄与しています。</p> <p>※馬のひづめの形</p>	 <p>おおくましげのぶきねんかん 大隈重信記念館 【所有：佐賀市】</p> <p>佐賀市水ヶ江に所在し、大隈侯の生誕125周年を記念し、昭和41年（1966）に建設されました。早稲田大学出身の建築家、今井兼次により設計され、建物自体が同侯を顕彰する記念碑的性格を有し、優れた施工技術に支えられたもので、隣接する大隈重信旧宅とともに日本の近代化に貢献した大隈侯の足跡に触れることのできる施設です。</p>

詳しくは

文化財課

☎0952(25)7232 FAX0952(25)7321

✉bunkazai@pref.saga.lg.jp

●「教育たより きらめく人づくり」では、皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしています。

あて先



佐賀県教育庁 教育総務課 危機管理・広報担当

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 ☎0952(25)7398 FAX0952(25)7281

URL: <http://www.pref.saga.lg.jp> ✉kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp

※佐賀県教育委員会が収集した個人情報、「佐賀県プライバシーポリシー」及び行動プログラムに従い、各事業の実施以外の目的で使用することはありません。